

(3) 第1回企業×学生交流会

第1回交流会

日時	令和3年11月6日(土) 13:30~15:00																														
会場	Zoomにて																														
テーマ	ICTと住																														
担当	メインファシリテーター・総合司会：中嶋未歩(和歌山大学、4期) グループファシリテーター：藤井優希(和歌山大学、4期)、米澤悠(和歌山大学、5期)、中村美月(武庫川女子大学、6期)、藤原舞人(和歌山大学卒業、1期)、上田ことみ(和歌山大学卒業、1期)、岡橋拓摩(大和大学卒業、3期生)																														
参加者チェックイン	テーマ「コロナで一番変わった生活は何？」																														
ワークショップ「人や社会や地球にやさしい消費行動を考える」	(導入) コロナ禍において、日々の生活とICTの関わり方はどう変化したか? (メインテーマ) ポストコロナとして、ICTの活用によるより良い生活とは?																														
	<p>令和3年度大阪府消費生活センター委託事業「大学生期における消費者教育推進事業」 第1回企業×学生交流会 2021年11月6日(土) 13:30~15:00 Zoomにて開催 第1回テーマ 住とICT</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>プログラム</th> <th>全体ファシリテーター: 中嶋未歩(和歌山大学)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 13:30(5)</td> <td>交流会の趣旨説明</td> <td>大阪府消費者教育学生リーダー会副代表 藤井優希(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>2 13:35(2)</td> <td>岡崎先生のお話</td> <td>岡崎裕(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>3 13:37(5)</td> <td>参加企業のご紹介 (Zoomのチャットでは、企業のご紹介もあり ます)</td> <td>消費生活関連専門家会議(cocast)社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 相談員協会(ncsc)4社 日本ヒーブ協議会1社</td> </tr> <tr> <td>4 13:42(5)</td> <td>参加者チェックイン 「コロナで一番変わった生活は何？」</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>5 13:44(5)</td> <td>今日のテーマ趣旨説明</td> <td>大阪府消費者教育学生リーダー会4期生 中嶋未歩(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>6 13:50(7)</td> <td>企業による事例紹介</td> <td>パナソニック株式会社 田中義雄氏 (公益社団法人消費者関連専門委員会(CAGAP) 会 員企業)</td> </tr> <tr> <td>7 14:00(30)</td> <td>グループワーク</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>8 14:00(5)</td> <td>全体共有&まとめ</td> <td>各グループ代表者 中嶋未歩(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>9 15:00</td> <td>閉会</td> <td>中嶋未歩(和歌山大学)</td> </tr> </tbody> </table> <p>拡大版は、資料19参照。</p>	時間	プログラム	全体ファシリテーター: 中嶋未歩(和歌山大学)	1 13:30(5)	交流会の趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会副代表 藤井優希(和歌山大学)	2 13:35(2)	岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)	3 13:37(5)	参加企業のご紹介 (Zoomのチャットでは、企業のご紹介もあり ます)	消費生活関連専門家会議(cocast)社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 相談員協会(ncsc)4社 日本ヒーブ協議会1社	4 13:42(5)	参加者チェックイン 「コロナで一番変わった生活は何？」	全員	5 13:44(5)	今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会4期生 中嶋未歩(和歌山大学)	6 13:50(7)	企業による事例紹介	パナソニック株式会社 田中義雄氏 (公益社団法人消費者関連専門委員会(CAGAP) 会 員企業)	7 14:00(30)	グループワーク	全員	8 14:00(5)	全体共有&まとめ	各グループ代表者 中嶋未歩(和歌山大学)	9 15:00	閉会	中嶋未歩(和歌山大学)
時間	プログラム	全体ファシリテーター: 中嶋未歩(和歌山大学)																													
1 13:30(5)	交流会の趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会副代表 藤井優希(和歌山大学)																													
2 13:35(2)	岡崎先生のお話	岡崎裕(和歌山大学)																													
3 13:37(5)	参加企業のご紹介 (Zoomのチャットでは、企業のご紹介もあり ます)	消費生活関連専門家会議(cocast)社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 相談員協会(ncsc)4社 日本ヒーブ協議会1社																													
4 13:42(5)	参加者チェックイン 「コロナで一番変わった生活は何？」	全員																													
5 13:44(5)	今日のテーマ趣旨説明	大阪府消費者教育学生リーダー会4期生 中嶋未歩(和歌山大学)																													
6 13:50(7)	企業による事例紹介	パナソニック株式会社 田中義雄氏 (公益社団法人消費者関連専門委員会(CAGAP) 会 員企業)																													
7 14:00(30)	グループワーク	全員																													
8 14:00(5)	全体共有&まとめ	各グループ代表者 中嶋未歩(和歌山大学)																													
9 15:00	閉会	中嶋未歩(和歌山大学)																													

<参加者数>

種類	参加者数	備考
学生	29人	大阪府講座受講生2 和歌山大学講座受講生27
リーダー会	6人	1期生2、3期生1、4期生2、5期生1、(6期生1)

企業	12人	ACAP:ハウス食品(株)、株式会社コンシェルジュ、住友生命保険相互会社、雪印メグミルク(株)、伊藤ハム米久ホールディングス(株)、パナソニック(株)、カスタマーケアプラン NACS:研究会2、湖池屋、西日本支部長 日本ヒーブ協議会:第一生命
大学	1人	和歌山大学1
その他	2人	大阪府消費生活センター1、事務局1
合計	49人	グループ分け7班

<第1回交流会の様子>

0. 事前準備

1時間前

- ・担当者事前ミーティング開始
- ・グループファシリテーターの役割を確認
- ・各自役割の確認
- ・google スライドのアドレスを全員にチャットで案内

20分前

- ・Zoom 会議をオンライン
- ・google スライドで作成した今日の流れの資料を共有する
- ・注意事項のアナウンス時に、google スライドにアクセスして立ち上げておくよう依頼
- ・スライドは、事前の準備についての注意事項を出す
- ・参加者を、事前にグループ分けした人簿に応じてグループ分けしていく（ブレイクアウトセッションにて）
- ・グループ担当は、ホスト役に

10分前

- ・事務局から企業、行政の方へご挨拶と注意点をお伝えする

5分前

- ・マイクをオフ、ビデオをオン
- ・Zoom の表示名を「名前・所属」に変更をお願い
- ・Google スライドへのアクセス方法の確認

1. 開会式

司会 中嶋未歩(和歌山大学)

まず初めに、司会者からネット上での交流会であることを伝え、協力をお願いした。

2. 交流会の趣旨説明とリーダー会の実績

発表者：藤井優希（リーダー会副代表、和歌山大学）

主催者であるリーダー会を代表して、交流会の趣旨説明とリーダー会のこれまでの実績につ

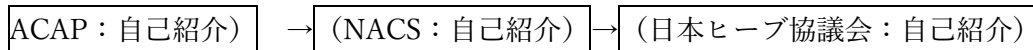
いて紹介した。

3. 岡崎先生よりご挨拶

今年度もコロナ禍の中で養成講座を実施し、企業の方にもご協力をいただきながら交流会を開催できたことへの感謝が伝えられた。

4. 企業のご紹介

司会者から、本来であれば、実際に対面することでどんな企業の方が参加されているのかすぐにわかるが、Zoom での開催となったことから、参加されている企業の顔が見えにくい
ため、企業の参加者の皆様から自己紹介をいただくことになったことが伝えられた。以下の
順番で一言自己紹介をしていただいた。企業からは、自己紹介の後、それぞれの企業紹介を
チャットにて送信いただいた。



5. 参加者チェックイン

司会者から、参加いただいている学生、企業の方全員に、今日のワークショップに参加していることを相互に伝えるために、チェックインの作業をしていただくことを伝えた。

全員、回答をチャットに入力してもらうこと、入力するには以下のルールに従って、入力をお願いした。

- ・チャットの対象は「全員」を選択

- ・入力は、氏名・所属・回答の順

お題は、

「コロナで一番変わった生活は何？」

5分後に、入力された内容について、司会者から傾向を伝えた。この時間を設けることで、少しお互いの顔が見えるようになったことを期待していることを伝えた。

6. ワークショップ

今日のテーマは、「住と ICT～新たな生活様式と ICT との関わり～」についてであることを伝えた。

グループは、こちらで割り当てさせていただいていることを伝えた。

続いて、グループワークを始めるにあたり、いくつか注意事項を伝えた。

- ・途中でグループに分かれて議論する

- ・各グループには、リーダー会のメンバーがグループファシリテータを務める

- ・グループでは、書記、発表者を決める

- ・役割は、学生が担当

- ・グループでの議論終了後に、全体共有として各グループで話し合われた内容を発表

- ・グループごとにスライドを指定し、自分のグループのスライドの色のついたシートに、議論した内容を自由に入力。書記だけでなく、グループ全員が入力可能。最後の発表用資料

としてもつかうことができるため有効に活用。

続いて、テーマについて趣旨説明を行った。

今回、グループワークのテーマは、導入とメインテーマの2つを設定しました。導入の「コロナ禍において、日々の生活とICTの関わり方はどう変化したか？」では、コロナ禍で日々の生活のICTとの関わりで変化のあったことについて、企業・学生それぞれの立場から感じることを簡単にグループ内で共有していただきます。その後、メインテーマ「ポストコロナとして、ICTの活用によるより良い生活とは？」に移り、企業・学生はそれぞれICTとどう向き合い、活用していくべきなのか、また私たちの生活はどう変わっていくのかを話し合っていました。

グループワークを始める前に、私たちがこのテーマにした理由や背景について、企業そして学生の状況についてご紹介した。

新型コロナウイルス感染拡大以降、私たちの生活とICTはより深くかかわるようになりました。企業ではリモートワークが増え、DX推進が進められるようになり、採用活動もオンラインでやる機会が増えました。また、学生も、オンラインで授業を受けることが多くなり、新入生歓迎会といったイベントもオンラインが主流となり、また就職活動もオンラインが多くなりました。

そんな中、企業が実際に取り組んでいるICT化はどのようなものなのでしょうか。

ここからは、約10分間の企業様の事例紹介に入った。

今回ご講演いただくのは、パナソニック株式会社の田中義雄様です。今回、田中様はこのワークショップのお時間は残念ながらご都合が合わないということで、事前に動画でご紹介を頂いております。今回は皆様にはその動画をご覧ください。また、チャットで資料を配布いたしますので、ぜひご覧ください。田中様は交流会終了後のお時間ならご参加いただけるとのことなので、交流会終了後に質疑応答の時間を設けております。こちらは任意参加ですが、田中様へ質問がある方はぜひ残っていただければ幸いです。

パナソニック株式会社 田中義雄様の動画「ICTによる生活の変化～パナソニックの取組を通じて」を流す。

続いて学生の事例紹介を行った。

私たち大学生は、新型コロナウイルス感染拡大以降、オンラインでの授業が増え、大学に行く機会も以前より少なくなりました。このグラフは、2021年夏時点での、大学生の1週間の登校日数のアンケート結果を示したものです。このグラフをご覧くださいと、入学したばかりの1年生では、1週間に1日も登校していない学生が9.4%、1日だけ登校している学生が14.6%、2日登校している学生が15.3%と、合計実に4割近くの学生が週に2日以下しか大学に通えていないのです。また、2年生に至っては1日も登校していない学生が18.3%、1日だけ登校している学生が15.8%、2日登校している学生が16.2%と、実に半数の学生が週

に2日以下しか大学に通えていません。

ここから、比較的履修科目が多いと考えられる1・2年生でもほとんど大学に通えていない学生が少なくないということが分かります。

アンケートでの学生の声を見てみると、オンライン授業に対してプラスの意見、マイナスの意見の両方が見られました。まずは、プラスの意見を一部ではありますが見ていきたいと思います。（意見を読み上げる）このように、見直しができることや、世界の学生と繋がれること、楽なことという理由からプラスに捉えている意見が見られました。

それに対し、マイナスの意見もあります。（意見を読み上げる）このように、友人関係がうまく作れないこと、課題が多くて疲弊してしまうことという理由からマイナスに捉えている意見が見られました。

また、大学生にとってとても大事な就職活動も、最近はオンライン化が進んでいます。株式会社ディスコが行った、全国の主要企業に対する調査では、インターンシップの実施がほとんどオンライン、オンラインが多いと答えた企業は4割にものぼります。

また、就職活動中の学生へのアンケートでは、オンラインでの就職活動にメリットを感じる、どちらかというともメリットを感じると答えた学生が70%、デメリットを感じる、どちらかというともデメリットを感じると答えた学生が15%でした。

オンラインでの就職活動に関しても、プラスとマイナス両方の意見がありました。まずは、プラスの意見を見ていきます。（意見を読み上げる）このように、移動時間や交通費がかからない、地元から離れた企業も受けられるという理由からプラスに捉えている意見が見られました。

マイナスの意見を見ていきます。（意見を読み上げる）このように、コミュニケーションの取りづらさや、本来の自分が伝わらない不安、獲得できる情報量の少なさといった理由からマイナスに捉えている意見が見られました。

ここからグループワークに入るが、改めて先ほどのグループワークの注意点を確認した。

この後、全員が7グループに分かれて議論した。（ブレイクアウトルームを利用）

7. 全体共有

7グループが話し合われた内容について、順次発表を行った。

8. 閉会&アンケート

交流会の閉会宣言をした後、参加者にWeb上にあるアンケートに回答して頂くようお願いして終了した。